

2018
NAGOA
GOOD GREEN
AWARD
|



民有地緑化コンクール
第2回なごやグッドグリーン賞

受賞作品集

なごやグッドグリーン賞 総評

「なごやグッドグリーン賞」は、名古屋市内の民有地の優良な緑化事例を顕彰することにより、民有地緑化の普及促進や質の向上を図ることを目的として設立し、平成27年度に、全国都市緑化あいちフェアに合わせて第1回の表彰を行いました。この表彰は、名古屋市が実施する緑化地域制度の効果を検証するためにも有効であると考えられ、平成30年度に第2回の表彰事業を行うこととなりました。

本賞の審査対象は、名古屋市内にある民有地の緑化であり、審査の5年以内に施工されたものとなっています。募集は個人住宅部門、集合住宅部門、事業所部門の3部門で行われ、全部で44件の応募がありました。

平成30年10月26日に名古屋市役所会議室で行われた審査の結果、それぞれの部門の部門賞、入賞作品が決定されました。また、全部門を通じた最優秀作品として大賞が選定され、それらとは別に特別賞も選定されました。

特別賞は今回の表彰から新たに設けられたもので、狭小な敷地における緑化や屋上・壁面緑化の導入など、限られた敷地の中で工夫が凝らされた緑化を対象としています。

この作品集は、どのような作品が、どのような評価視点で受賞したのかについてまとめたものになります。本賞の大きな特徴としては、会社組織として実施する、お金の掛かった大規模な緑化よりも、身近で市民の緑化活動に直接参考になるような事例を優先して選定していることが挙げられます。そういった意味で、本作品集には、市民活動の場において参考になるような創意や工夫に富んだ事例が数多く盛り込まれていますので、これからの民有地緑化の推進に大いに役立てていただきたいと思います。



第2回なごやグッドグリーン賞審査委員会
座長

山田 宏之 | Yamada Hiroyuki

受賞作品一覧

■ 個人住宅部門 ■ 集合住宅部門 ■ 事業所部門



大賞

■ 01 バーデンハイム鳥栖

部門賞

個人住宅部門
集合住宅部門
事業所部門

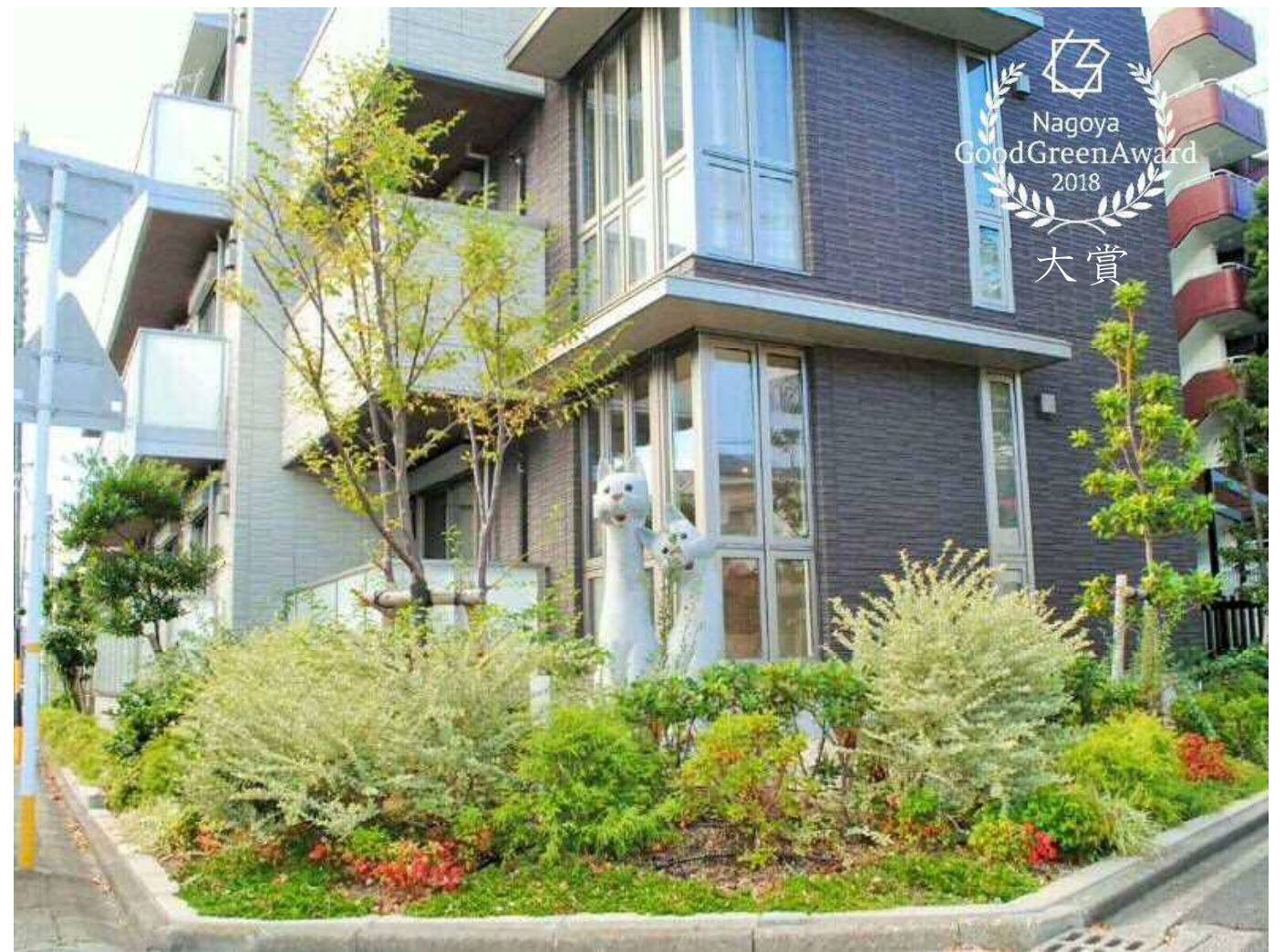
■ 02 木立に暮らす家
■ 03 パークコート上前津プレミアプラス
■ 04 グローバルゲート

入賞 (順不同)

■ 05 鳥居邸
■ 06 M邸
■ 07 都会にたたずむ、森のまち
■ 08 メゾンドソレイユ大屋敷
■ 09 ルナテラス
■ 10 メイカーズピア
■ 11 那古野PJ1
■ 12 JPタワー名古屋

特別賞 (順不同)

■ 13 ガーデンひろし
■ 14 F邸
■ 15 中央ビル
■ 16 アルプススチール株式会社

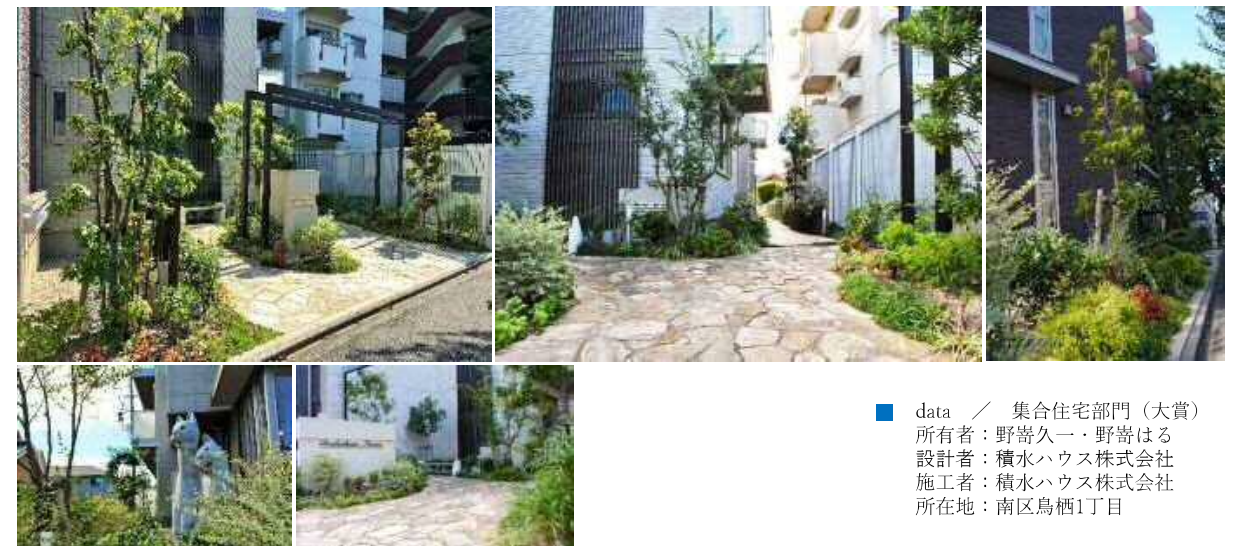


Nagoya
GoodGreenAward
2018
大賞

01 バーデンハイム鳥栖

応募者は、「樹木へのこだわり」、「やすらぎを感じられる賃貸住宅」、「共用ベンチによる憩いの場の創出」、「オーナーこだわりのネコの石像」を、この作品の特徴として挙げています。事前審査の段階では、多様な緑の構成、道路から見える緑やオブジェの地域への親和性、在来種へのこだわりと自然を感じるデザイン、高木・低木のバランスの良さ、などの点が評価されました。審査委員会では、「まちなみと周囲を歩く人々へのやさしい気持ちの感じられるデザインで魅力的」、「生長するグリーンと人工物の共存は都市内の共通課題でもあり、ミクロな実験例としても評価したい」、「賃貸の小物件でありながら、緑を多く取り入れオーナーのこだわりを感じる」などの推薦意見が挙げられ、本賞の趣旨と照らし、最も優秀であると認められました。

山田 宏之 | Yamada Hiroyuki



■ data / 集合住宅部門（大賞）
所有者：野嵜久一・野嵜はる
設計者：積水ハウス株式会社
施工者：積水ハウス株式会社
所在地：南区鳥栖1丁目

02 木立に暮らす家



道路からお宅を眺めると雑木林のようにオープンでゆったりと感じられる野趣的な庭である。個人住宅でありながら、室内やテラスの目隠しを配するのではなく、高木類の樹種をさり気なく配植することで緩やかに視線を遮っている。また、中・低木を少なめにグランドカバープランツを多くしたデザインが心地よい。これは、外周のフェンスの形状や色にも伺え、透明感を優先した資材選びが見てとれる。これらの緑化手法により、所有者が自然を楽しみながら暮らすために造られた庭となり、同時に地域の住環境を向上させる効果も併せ持っている。私は、この場所が地域の重要な場所となることを期待している。

糟谷 護 | Kasuya Mamoru

data / 個人住宅部門（部門賞）
所有者：小崎能弘・小崎華絵
設計者：森建築設計室（建築）
株式会社輪鼓装飾店（造園）
施工者：吉富工務店株式会社（建築・外構）
株式会社輪鼓装飾店（造園）
所在地：千種区



04 グローバルゲート

事業所部門は、他部門よりも当然規模が大きくなる。こうした大きさに対し、グリーンをどのように関与させているかが、賞を選定する視点の一つとなった。受賞した「グローバルゲート」は、名古屋駅南西の新しい街「ささしまライブ24」の中核をなす複合施設である。外部広場から商環境にアプローチし、さらに回遊できる屋上庭園をタワーの足元に繋ぐことで、人々の往来を有機的に生み出している。また、利用者各々が多様な居心地の良さを創出する上で、高木・低木・地被など多種多様なグリーンを植栽し、立体的な「公園性」を特徴としている。気軽に寝転び休憩できたり、美味しい惣菜をテイクアウトしてピクニックしたり…都市の真ん中で、今までにない楽しみや交流を提供するグリーンは、人々の相互作用で形成される街において、ともに生長するダイナミズムの好例である。

藤井 尚子 | Fujii Naoko

data / 事業所部門（部門賞）
所有者：ささしまライブ24 特定目的会社
設計者：株式会社竹中工務店
施工者：株式会社竹中工務店
所在地：中村区平池町4丁目



03 パークコート上前津

プレミアプラス

場所ごとに積極的に多彩なグリーンを取り入れ、集合住宅内部には安らぐ空間を、その周辺地域にも美しい景観を提供している点を評価したいと思います。

都心部ではグリーンは存在だけでも貴重ですが、ここでは花木や紅葉のきれいな樹種も加え、植栽に季節感も取り入れています。落葉もあり管理は単純ではありませんが、これまでよく管理されていることが確認されています。

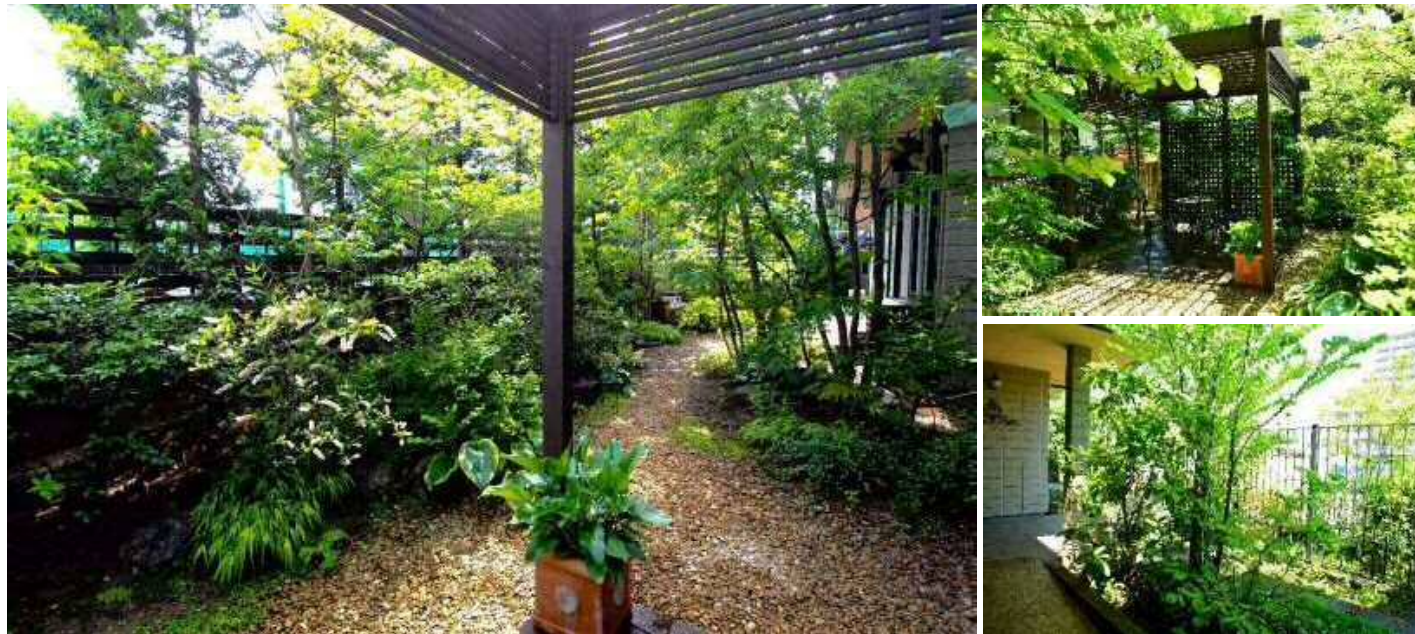
質的にも量的にも豊かなグリーンは、この集合住宅の品格を醸成しています。これは今後の都心部の集合住宅計画において、よいお手本のひとつとなろうかと思います。名古屋市にとってもこのようなグリーンのある建築は、都心部の美しい景観形成に貢献するものですので、受賞にふさわしいものと考えます。

阿部 順子 | Abe Junko

data / 集合住宅部門（部門賞）
所有者：パークコート上前津プレミアプラス管理組合（三井不動産レジデンシャル株式会社）
設計者：三井不動産レジデンシャル株式会社
グランスケープ有限会社
施工者：矢作建設工業株式会社・ヤハギ緑化株式会社（造園）
所在地：中区上前津二丁目203番地



05 鳥居邸



住宅街の中で一際目を引く圧倒的な緑の量。しかし、量だけではない緑の多様性・豊かさから、丁寧で潤いのある日々の管理がなされているのが見て取れる。また、所有者自身に思い入れのある樹木を残しながらも、配植に高低差を出すことで立体感が生まれ安らぎのある空間が見事に演出されている。

data / 個人住宅部門（入賞）
所有者：鳥居真智子・鳥居美奈登
設計者：株式会社輪鼓装飾店
施工者：株式会社輪鼓装飾店
所在地：瑞穂区

07 都会にたたずむ、森のまち



「都心の喧騒を離れ、大きな森に包まれるように暮らす。」をテーマとした戸建用分譲地に建つ住宅。敷地高低差で生じるスペースに植栽帯を設け、在来種を基本とした豊かな植栽がなされている。住宅を囲むような緑は、窓から眺められるよう建築と外構が調和するように計画されているだけでなく、野趣あふれる樹木の中に花が彩りを添え、街行く人々を楽しませている。

data / 個人住宅部門（入賞）
設計者：積水ハウス株式会社 名古屋東支店
施工者：積水ハウス株式会社 名古屋東支店

06 M邸



一際目を引く建物に重量感のある植栽がなされることで、風致地区である緑豊かな街並みと調和を保ちつつ、独自性のある外観が見事に形成されている。また、プライベートエリアは木漏れ日のある小さな森のような空間となっており、そこにひっそりと設けられた水面には緑が映え、美しい景観を呈している。

data / 個人住宅部門（入賞）
設計者：株式会社園三
施工者：株式会社園三

08 メゾンドソレイユ大屋敷



広い駐車場を確保しながらも、街路樹との調和も含めた効果的な植栽によって緑豊かな景観を構成している。沿道から建物へつなぐメインアプローチは緩やかなカーブを描き、脇に控える植栽は中低木を工夫しながら配置させることで、緑道のような空間が見事に形成されている。

data / 集合住宅部門（入賞）
設計者：積水ハウス株式会社
施工者：積水ハウス株式会社
所在地：守山区大屋敷1106番地

09 ルナテラス



4軒並びの戸建賃貸の共有地に設けられたオープンガーデン。草花の植え替え可能なスペースも設けられており、共有地における緑を介した住民同士のコミュニケーションが見て取れる。集合住宅における「共有地×緑（グリーン）」の在り方の提案として今後の可能性が感じられる。



■ data / 集合住宅部門（入賞）
所有者：平野治夫
設計者：グリーンデザイン エンズ
施工者：ガーデンスタジオ 和（なごみ）
所在地：千種区月ヶ丘二丁目2番11号

11 那古野PJ1



四間道街並み保存地区の歴史ある街並みに調和した植栽が見事になされている。特に、沿道脇の植栽は和を代表する苔やトクサなどの繊細な緑を中心とした立体的な造形となっている。沿道脇の狭小なスペースに質の高い植栽がなされることで、街並み保存地区のイメージアップに大きく貢献している。



■ data / 事業所部門（入賞）
所有者：株式会社不動産工房
所在地：西区那古野一丁目22番9号

10 メイカーズピア



施設構想段階から造園チームが参画し、開発エリアに生育していた樹齢40年にもなる500本もの高木を残している。その木々の間に建築物を配置することで、緑豊かな商業空間を実現した点が高く評価された。保存された樹木は、施設を訪れた人々に森の中を感じさせる非日常的な空間を演出している。



■ data / 事業所部門（入賞）
所有者：GCDS JAPAN株式会社
矢作地所株式会社
設計者：サカタのタネ グリーンサービス株式会社
施工者：サカタのタネ グリーンサービス株式会社
ヤハギ緑化株式会社
所在地：港区金城ふ頭二丁目7番地1

12 J Pタワー名古屋



様々な都市環境に配慮した計画となっており、緑化に関しては屋上・壁面など合わせて約3,200㎡もの多様な植栽がなされ、緑を用いた先進的な都市環境への取り組みが高く評価された。特に、植栽に太陽光パネルなどを組み合わせた「エコウォール」は、高さ35mにも及ぶ巨大な壁面緑化であり、名古屋駅の新幹線ホームから望むことができる。



■ data / 事業所部門（入賞）
所有者：日本郵便株式会社
名古屋建設株式会社
設計者：株式会社日本設計
施工者：株式会社竹中工務店
所在地：中村区名駅一丁目1番1号

13 ガーデンひろし

一般的には植栽空間に向いていない沿道脇の狭小スペースに、割栗石を用いたロックガーデン風の植栽を設けている。狭小ではあるが、樹木や花を配することでリズムが生まれ街行く人の目を楽しませている。狭小スペースを「あえてつくった植栽スペース」として緑を楽しむ遊び心が感じられ、街の魅力向上にも寄与している。



■ data / 個人住宅部門（特別賞）
所有者：稲垣大
設計者：株式会社本陣
施工者：株式会社本陣
所在地：千種区青柳町

15 中央ビル

所有者が行う中村公園駅周辺における「名古屋中村緑のリノベーション」計画の1つ。既存ビルへの緑化であり、植栽が困難な環境の中、大規模な壁面緑化を実現した点が高く評価された。植栽スペースが狭小であるため、植栽帯を立ち上げることで土壌厚を確保したり、壁面緑化の補助資材として緑化パネルを用いたりするなど、様々な工夫が施されている。



■ data / 事業所部門（特別賞）
所有者：株式会社ジェー・シー・エム
設計者：株式会社柳澤設計事務所
施工者：株式会社Farm&Gardens
山信建設株式会社
所在地：中村区豊国通1丁目2番地

14 F邸

角地という特性を利用し、駐車場と植栽を見事に融合させたデザインとなっている。隅切り部分には街へ向けた植栽帯を設けることで、緑あふれた奥行きのある景観をつくり出している。また、各所に設けられた植栽帯は限られたスペースの中で自然石や植栽の高低差を活かした植栽がなされており、駐車場を含めて質の高い統一感のある空間が構成されている。



■ data / 個人住宅部門（特別賞）
設計者：株式会社豊造園
施工者：株式会社豊造園
所在地：瑞穂区

16 アルプススチール株式会社

既存の工場に対して「無機質な工場に緑を多く」という所有者の要望を実現。敷地いっぱいに工場が建つ中、駐車場・壁面・屋上などの多彩な緑化を多く取り入れることで、豊富な緑を確保した。工場中庭に既存コンクリートを撤去して設けられた植栽は、工場内に突如現れる小さな森を連想させ、働く人々や緑に対する所有者の深い思いを感じ取ることができる。



■ data / 事業所部門（特別賞）
所有者：アルプススチール株式会社
設計者：株式会社岐阜造園 名古屋支店
施工者：株式会社岐阜造園 名古屋支店
所在地：中川区月島町11番30号

第2回 なごやグッドグリーン賞 概要

「なごやグッドグリーン賞」は、名古屋市内の民有地の優良な緑化事例を顕彰しPRすることにより、民有地緑化の普及・促進や質の向上を図ることを目的とし、平成27年より開催しています。

応募対象

名古屋市内の民有地緑化で5年以内に施工されており、選定基準に該当するもの。

個人住宅部門：個人邸（戸建住宅含む）

集合住宅部門：アパート、マンション など

事業所部門：店舗、商業施設、オフィスビル、工場 など

選定基準

- ①街並みとの調和
- ②緑化デザイン・植栽計画
- ③緑のボリューム・多様性
- ④季節感
- ⑤緑化手法
- ⑥適切な管理

選定過程

応募期間	平成30年6月1日から平成30年8月10日まで
審査会	平成30年10月26日 16件を選定
表彰式	平成31年1月18日

審査委員

50音順／敬称略／※座長

阿部 順子	椋山女学園大学 准教授	（建築計画）
糟谷 護	糟谷庭園デザイン室 代表	（造園家）
藤井 尚子	名古屋市立大学大学院 准教授	（美術装飾）
*山田 宏之	大阪府立大学大学院 教授	（都市緑化）
山田 好人	名古屋市緑政土木局 緑地部長	

